

3月1日

下呂市市制施行10周年 記念式典を開催

下呂市が誕生して10周年の3月1日、下呂交流会館において
下呂市市制施行10周年記念式典を開催しました。

オープニング

萩原南中学校、下呂中学校、金山中学校吹奏楽部と、下呂市民吹奏楽団の合同演奏。下呂市民吹奏楽団団員の皆さんは、この日のために各中学校を回り、学校と一緒にになってつくり上げ、息の合った演奏を披露しました。

下呂温泉の舞妓さん、雛乃さんと菊乃さんによる華麗な舞も披露されました。



式典

式典には、約500人が出席。野村市長は、「自治体自らの責任においてまちづくりを行うことが求められる時代になり、下呂市を取り巻く環境も大きく変化してきた。引き続き、行政改革を強力に進め、持続可能で元気な下呂市を築いていきたい」とあいさつし、本年度の功労者表彰を行いました。
(※功労者表彰は4ページに紹介しています)





会場の外では…

◆ 益田郡五町村のあゆみ

会場入り口には「益田郡五町村のあゆみ」として、パネルが展示されました。

懐かしい風景や人物に、訪れた人たちはパネルを見ながら話はずませていました。



◆ おもてなし

お越しいただいた来賓の方々には、煎茶道中島社中の皆さんにより、煎茶がふるまわれました。



市民憲章

下呂市市民憲章が10周年を機に昨年12月に制定されました。

下呂市がいつまでも希望いっぱいの素敵なまちであることを祈って、市内の小学校4年生全員255名の皆さんによって元気に発表されました。

下呂市が誕生した年に生まれた子どもたちがこんなに成長しました。将来の下呂市はこの子どもたちの世代がつくっていきます。

キャッチフレーズ

みんなでまーるく
まんまる下呂市



市制施行10周年にあたってキャッチフレーズの募集を行いました。合計129点の応募があり、そのなかから中原小学校1年生の矢嶋功希さんに、優秀賞が贈られました。

お母さんと一緒に考えたというこのキャッチフレーズですが、功希さんは「みんなが仲良く、元気な下呂市になってほしいと思ってつくりました」と、元気よく語り、会場の皆さんと一緒にキャッチフレーズを唱和しました。

